



石岡市立府中中学校

SCHOOL NEWS FUCHU

No. 11

R7. 1. 24

〔校訓〕 素直 誠実 自律

〔生徒数〕 1年 128 2年 127 3年 137 計 392

進路の決定に向けて

私立高等学校の受験、県立高等学校の受検校の決定等、3年生の進路の決定に向けた取組が進んでいます。様々なプレッシャーや葛藤があることと思いますが、自分の将来のために、精一杯頑張る様子が見られます。そのような3年生の姿を見て、1・2年生も、自分の1年後、2年後の姿を想像しながら、1日1日を大切に過ごしてほしいと思っています。

そして、保護者の皆様に加え、1・2年生、教職員など、関係する皆で、3年生のことを応援していければと思います。これから受検する3年生が、今までの努力の成果を、本番でも存分に発揮できるよう心から願います。

府中中学校のトピックス

◎冬休み明け集会

1月8日(水)に、冬休み明け集会を、オンラインで実施いたしました。集会では、「石岡市障がい者スポーツ大会」に、ボランティアとして参加した福祉委員会の生徒による、活動報告がありました。また、集会後に、新生徒会本部役員の新任命式を行いました。新生徒会長が、力強く抱負を述べる姿が印象的でした。最後に、受検する3年生に対して、1・2年生が、皆で作成した応援メッセージを送りました。3年生は、1・2年生からのメッセージを受け、きっと勇気づけられたことでしょう。

◎保健体育の授業の様子(持久走)

1月の保健体育の授業では、持久走を実施します。1月10日(金)も、冷たい風が吹く中、多くの生徒がグラウンドを走る様子が見られました。府中生は、伝統的に持久走を頑張る生徒が多いです。午後の体育の授業に備え、給食を少し控えめにしていた生徒もいたとの話も…。持久走をとおして、心身をたくましく成長させることができるよう願います。

◎英語の授業の様子

1月15日(水)、2年生は英語の授業で、自分たちで考えた英語によるプレゼンテーションをALTの前で行い、アドバイスをもらっていました。プレゼンテーションの内容は、自分たちで調査したアンケートの結果についてです。好きな音楽について調査したグループは、プレゼンテーションの中で、実際に音楽を流していました。このように、学んだ知識や技能を生かして、工夫してアウトプットすることは、とても大切なことだと捉えて授業づくりを行っています。

◎性的マイノリティに関する授業

1月15日(水)に、1年生の全学級で、性的マイノリティに関する授業を実施しました。「多様な性って何だろう?」という問いから、動画を視聴したり、話し合ったりして、学びを深めました。その中で、体の性、心の性、好きになる性、表現する性など、性は男女の2つに分かれるだけでなく、多様であることに気付くことができたようです。



◎避難訓練（不審者対応）・防犯教室

1月20日（月）に、不審者対応の避難訓練を実施しました。今回は、石岡警察署スクールサポーターの方を講師としてお招きし、教師が刺股を使って不審者を取り押さえたり、笛を鳴らして知らせたり、生徒が教室の鍵を閉めてバリケードを設置したりする等、実際に不審者が侵入した場合の対応について確認しました。また、体育館に集まり、不審者対応やSNSの利用に関する話を聞いたり、闇バイトに関する動画を視聴したりしました。生徒たちは、スクールサポーターの方の話をよく聞き、万一の場合の身の守り方についてしっかりと考えることができたようです。

生徒の声

今回は、新旧生徒会本部役員の中から、代表して2名の生徒の声をお届けいたします。

◎3年1組 **井坂 雫さん** この1年で、府中中学校の今の状況を理解し、そのうえで、よりよい学校にするための活動に、積極的に取り組むことができました。くつなどの校則を変えるための活動はとても大変でしたが、実現できてよかったと思います。

たくさんの経験をさせてくださったことに、本当に感謝しています。

◎2年4組 **島田 岳門さん** 僕は、2年連続で生徒会本部役員に任命されたので、1年生や初めて生徒会本部役員になった人などを引っ張っていきながら、この府中中学校をいい学校にしていきたいです。そして、任命されたからには、みんなの意見を聞きながら、よりよいことができるようにしたいです。

教育コラム

今回は、「ほめ言葉手帳ワイド2024」（菊池省三監修・明治図書）の、「未来を変える発想をしよう」のページに出てくる言葉を紹介します。

「子どもたちを上から目線でとらえてしまうと、どうしても否定的な言葉が出てきます。そして、責めるコミュニケーションになってしまいます。感情的になってしまうからです。

そうではなくて、できることをまずは認めることです。子どもなりに精いっぱいがんばっていると考えのです。そして、次はうまくできるように、その方法を教えるのです。

「子どもなりに精いっぱいがんばっている」は魔法の言葉です。（省略）

上から目線で子どもを感情で否定するのではなく、冷静に「できないのには訳があるんだよね」と考えることで、未来を変える建設的な発想とほめ言葉が自然に生まれます。

私たち教職員も含め、子どもに関わる全ての大人が、心がけていきたい言葉です。

～2月の予定～

3	月	委員会活動	16	日	石岡ハーフマラソン（駐車場貸与）
4	火	実力テスト（3年）	20	木	学年末授業参観、学級・学年懇談（1・2年） スクールカウンセラー（AM）
6	木	学校保健委員会 スクールカウンセラー（AM）	21	金	心の教室相談員 第3回学校運営協議会・PTA本部役員会
7	金	心の教室相談員	23	日	天皇誕生日
11	火	建国記念の日	24	月	振替休日
13	木	後期期末テスト（1・2年）① スクールカウンセラー（PM）	27	木	茨城県立高等学校入学者選抜一般入学学力検査等 実力テスト（1・2年） スクールカウンセラー（AM）
14	金	後期期末テスト（1・2年）② 心の教室相談員	28	金	茨城県立高等学校入学者選抜特色選抜面接等